

殉国は乱世に易く、
治世には難し

佐藤一斎 『言志晩録』より



國の支之

(中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒540-0012
大阪市中央区谷町2丁目7番6-605
TEL 06-6947-0831
発行人 高橋季義
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第15号

(夏季号)

平成15年7月1日(火)
(皇紀2663年)
(大正紀元92年)
(昭和紀元78年)

国際連盟と国際連合 戦争が産んだ新たな組織

平成十五年三月二十日、米軍はイラクの首都バグダッドに大規模な攻撃を開始した。これは周知の如く、国際連盟における多数意見を無視して実施されたものであった。

そしてこれは、特に日本人にとって感慨深い出来事ではなくはならなかった。何故ならば今年、満州に於ける日本の武力行為を否認する、いわゆるリットン報告書(厳密には、リットン報告書に基づいた十九カ国委員会の提案書)が国際連盟総会において可決され、そして我が松岡全権がさよならの一語とともに議場を去った昭和八年二月二十四日から、丁度七十年という記念すべき年だったからである。

あらゆる国際紛争を話し合いと多数決で解決しようという原則、その理念が如何に非現実的なものであったかをまざまざと見せつけられた事件であったが、それは同時に嘗て米國を首魁とする連合国が、我が日本を断罪した根拠の脆くも崩れ去った瞬間でもあった。昭和六年九月十八日以降の満州に於ける我が国の行動は不戦条約違反であり侵略行為であるとした、リットン報告書以降東京裁判の論告に至る彼等の主張と、今回のイラク攻撃との間にどのような整合性が見いだせるのであろうか。

しかし我が国に於いて、この点に言及した論説は殆ど聞かれなかった。僅かに兵頭二十八氏のイラク戦争

と満州事変の類似性について論じた一文を、「正論」六月号に見出したのみである。それより先、四月一日付け本紙第十四号の編集後記は、この問題について一石を投じた。筆者は、今次イラク戦争の開始に至る経過を傍観しつつ、パウエルとラムスフェルドの確執に、支那事変初期における我が政府と参謀本部との対立を連想させられていたが、本紙編集後記に触発され、この問題について若干の考察を試みることにした。

国際連盟とは第一次世界大戦の講和条約に規定された、戦勝国による国際平和維持組織である。その創設は米國大統領ウィルソン主導のもとに推進された。我が國は国際連盟の規約に人種平等案を入れるべく提案し、過半数の賛成を得たにも関わらず、議長ウィルソンの独断で排除されてしまった。しかも残念なことに、与謝野晶子、馬場恒吾等の我が國言論人はウィルソンの処置を是としたのである。当時我が國におけるウィルソン信仰は、殆ど病的ともいえる状態であった。しかもそのウィルソンの米國は、国際連盟加入を拒否したのである。

平和な時に各国が平等の立場で話し合い、同意して発足した組織でないことだけは確かである、そして現在の国連は、常にかつての戦勝国中の強大国が権力を独占している。むしろその昔の「連盟」の方が、「国連」より「実力」に欠けてはいたものの、「民主的」であったといえるであろう。

領されたも同様」と後に勝利場を話し合い、同意して発足した組織でないことだけは確かである、そして現在の国連は、常にかつての戦勝国中の強大国が権力を独占している。むしろその昔の「連盟」の方が、「国連」より「実力」に欠けてはいたものの、「民主的」であったといえるであろう。

その反動が昭和三年六月四日の、河本大佐、東宮大尉等による張作霖爆殺事件であり、更にその復讐かと思われるのが昭和五年五月二十一日の畑英太郎中将怪死事件であった。張作霖爆殺事件以後の一触即発の状態を和らげる為、張学良を訪問した関東軍司令官畑英太郎中将は、辞去直後に苦痛を訴え間もなく急死した。当時張一派による巧妙な毒殺ではないかと囁かれ、その疑いは今も消えていない。東郷茂徳元外相は、戦後もその著書で毒殺の可能性を否定していない。

今冷静に満州問題を振り返ってみると、日本側にも幾つかの瑕疵行為があったといえ、少なくともワシントン会議以降は始とが支那による「革命外交」即ち「赤露に扇動された国際常識を逸脱した行為」が原因であったことに気付くのである。そして日本に対する不法行為が蒋介石の国民党によってなされていたこと、リットン報告書は排日行為の責任が国民党にあることを認めてはいたが、国民党が「欧米的概念の政行」つまり民間人の集団と認識は無かった。国民党はソ連の共産党と同じ国家政行である、従って国民党の行為が即支那政府の意向である、という指摘を我が政府が述べたに過ぎない。ヒトラーは、領土は強奪してもナチズムの輸出はしなかった。ムソリーニのファシズムも同様である。してみると近世最大の災厄はこの二つの「押し売り」かも知れない。

中東への米國の係わりはそんなに古いことではない。抜き差しならぬ程に深みに陥っていたのは周知の通り英國であった。第一次世界大戦当時の大正四年十月二十四日、アラブ人をトルコから離反させる為、パレスチナをアラブ人に与える約束をしたマクマホン宣言。その舌の根の乾かぬ大

い、切羽詰まったものであった。そしてその危機の源流は、満州問題についていえば、どこでもマルキシズムにあったと結論できよう。

イラク戦争と満州事変

国際連盟と国際連合 その欺瞞性と類似性

満州と日本 生きる為の脱出口

日本は何故かくも満州に執着したのか。結論は簡単である。その隣りにロシアが存在したからである。徳川幕府二百六十年、日本が世界に誇る奇跡の平和国家で居られたのは、偏にロシアが東欧諸国を西シベリアの辺りに蠢動していた間のことであった。ロシア帝国が清國から沿海州を強奪したアングロ条約の成立した安政五年には、早くもその脅威は現実のものとなっていた。二年後の文久元年にはロシア海軍による対馬侵略が実行に移されたのである。この年二月に対馬の尾崎浦という小湾に上陸したロシア海軍は、半年に亘ってその地を占拠し、樹木を伐採して兵舎を建設する等「対馬は事実上ロシアに占



昭和史研究家 奥村直

昭和9年東京生、武蔵野美術学校卒(現・美術大学)。戦前の名門海軍雑誌『海と空』が昭和30年代初めに復刊したとき執筆陣に参加。軍艦の絵を描いたり、海戦史などを執筆。伊藤正徳氏を始め高橋大将、福田少将(潜水艦の権威)等の知遇を得て勉強。以後引続き戦史・近代史を研究中。長野県で美術工房、メーゾナルスを主宰。

の絶大な貢献について言及したのである。当時を知る古者によつて今も語り伝えられている。その古い一人は述懐する。あの恐るべき状況から日本を救ったのは満州事変であった。と。筆者が直接耳にしたことである。

支那政府、張軍閥による日本の権益の不法な侵害、排日、そして彼等の仲間割れとも言うべき内戦により日本の蒙った被害、それらは概ね幣原外交の基本とも言える「日本の忍従」によって辛うじて処理されていたのである。

大戦の講和条約に規定された、戦勝国による国際平和維持組織である。その創設は米國大統領ウィルソン主導のもとに推進された。我が國は国際連盟の規約に人種平等案を入れるべく提案し、過半数の賛成を得たにも関わらず、議長ウィルソンの独断で排除されてしまった。しかも残念なことに、与謝野晶子、馬場恒吾等の我が國言論人はウィルソンの処置を是としたのである。当時我が國におけるウィルソン信仰は、殆ど病的ともいえる状態であった。しかもそのウィルソンの米國は、国際連盟加入を拒否したのである。

戦終結後に生まれたのに比べて、国際連合は第二次世界大戦の昭和十八年十月に早くも企図された。連合國の「世界支配機構」であった。この月モスクワにて開催された米英ソの三国外相会談で話し合われ、蒋介石政権を加えた四國共同宣言の形で「世界的国際機構」の設立が提案されたのが始まりである。そもそもスタートからしてが下心見え見えの胡散臭いものであった。しかもこの時点で、国際連盟は未だ命脈を保っていたのである。

連盟といふ、国連といふ、そのスタートは常に戦勝國の発意によるものであった。国際連盟は発足当時、戦

た赤化の風が想像以上のものがあったことは、当時を知る古者によつて今も語り伝えられている。その古い一人は述懐する。あの恐るべき状況から日本を救ったのは満州事変であった。と。筆者が直接耳にしたことである。

勿論満州の沃野や石炭に代表される豊かな天然資源、それはブロック経済によって自活の途を奪われた我が日本にとって、生きる為の脱出口と信じられたこととは否定しない。しかしワシントン会議以降、愚直なまでに国際条約を遵守して

から万宝山事件、中村大尉虐殺事件と何れも支那側原因とする重大事件が続発した。この状況を憂えた重光駐支公使は、南京政府の宋子文と事態解決の為満州に同行することとした。出発予定日は九月二十日、しかしその二日前に満州事変は勃発したのである。

の赤化戦略の恐怖(レーニンは、世界を征服する為には先ず東洋人の思想を征服せよと言った)がなかったら、そして蒋介石をはじめとする支那の指導層があれほど赤露に心酔することが無かったら、更にルーズベルトに代表される米国民主黨の左翼がぶれがなかったら、少なくとも東アジアは平穏を保っていたに違いない。そのころ我が日本が直面していた危機は、イラクに対して米國の抱いている危機感とは比較にならない

2面へ続く

二 挨拶

「関西防衛を支える会」の皆様方におかれましては、平素から自衛隊に対しては、平素から自衛隊に対しては、温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



連携深め「行動する自衛隊」を

自衛隊大阪地方連絡部長・陸将補 酒井 健

「評価される時代」になつてきております。このように、自衛隊は、国民の期待に何時でも応えることができるよう、気を引き締めて日夜厳しい訓練に励んでいくところです。

1面から続く

正六年十一月二日、ユダヤ財閥の資金当座に外相バルフォアがイスラエルの建国を約束したバルフォア宣言は二枚舌外交ともいわれるべき背信行為であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える

満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。リットン報告書に対する帝国政府意見書(昭和七年十一月二十日公表)はこのように述べていた。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

イラク戦争と満州事変

国際連盟と国際連合 その欺瞞性と類似性

「根拠」を根本から覆した。あの米国のイスラエルの行為が許容されて、独り日本の行為のみ有罪とされる理

「評価される時代」になつてきております。このように、自衛隊は、国民の期待に何時でも応えることができるよう、気を引き締めて日夜厳しい訓練に励んでいくところです。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

自衛隊とは何か 日米の違いを考える 満州事変に際して、我が政府が「自衛権発動」の根拠としたのがカローリン号事件であった。

建武中興六百七十年に寄せて

岐阜の山奥に生まれ育った私が大阪の地を初めて訪れたのは、昭和三十三年、高校二年の夏休みである。ただ、その時も市内へ遊びに行ったのではない。私の郷里よりも山深い南河内郡千早赤坂村の千早城址に建つ「存道館」で開かれた三泊四日の研修を受けるために出かけたのである。

あれ以来四十五年、日本学協会主催の「千早鍛錬会」には三十回近く参加した。今夏も講師の一人として参加することになったが、その会場として存道館を借りて頂くかどうか、かなり難しい微妙な現況にある。今もしも手を打たなければ、由緒ある存道館(大阪府立の建物)は程なく消滅する(取り壊される)か朽ち果てる。ほかない。

今日、大楠公を仰ぐ心ある人々は、この窮状を的確に認識し、早急に有効な打開策を講ずるべく、着実に努力しなければならぬ。その一助として、この研修施設ができたいきさつを振り返ることにより、先人の志を受け継ぐべきとさせて頂く。

安井英二といえは、一世代前の大阪人なら誰もが知っていた稀代の名知事である。今では忘れられた存在かもしれないが、一昨年刊の講談社版「日本人名大辞典」には次のように紹介されている。「内は私の補記。やすいえいじ「安井英二」(一八九〇〜一九八二)昭和時代の官僚・政治家。

明治二十三年九月十八日生れ。内務省に入り岡山県知事を経て昭和十年に大阪府知事。第一次近衛内閣で文相に就任、十年に大阪府知事。第二次近衛内閣でも内相兼厚相として新体制運動をおすすめした。「昭和二十年、再び大阪府知事となり」終戦時は近畿地方総監。戦後の追放解除後、国家公安委員となった。昭和五十七年一月九日死去。九十一歳。東京出身。東洋大卒。

すなわち、安井氏は昭和十年(一九三三)正月に満四十五歳の若さで初めて大阪府知事に抜擢され、二年半後、近衛内閣の文部大臣に栄進したが、半年で辞任。ついで同十五年から第二次近衛内閣の内務大臣となり、一時厚生大臣も兼任したが、大政翼賛運動の新たな方針に従わず辞任。やがて同二十年に五十五歳で再び大阪府知事となり、まもなく近畿地方総監で終戦を迎えた。正に気骨のある内務官僚出身の大物政治家で、二度の府知事在任中も多大な行政実績をのこしている。

そのうち、我々の感謝してやまない功績が、「存道館」の建設にほかならない。この件については、安井氏自身が戦後(昭和四十年五月)次のように語っておられる(信学行社刊『安井英二先生談話』より抄出)。「私、昭和十年に「大阪」知事になってきた時は、楠公六百年祭などで、いわゆる楠公ブームの時

すから、千早城址に楠公道場を作ろうという議がある。私は腹の中では、率先してやってもよいと思っただけで、形の上では抑えた。関係する人がすべて楠公精神に徹した人ならよいが、ただ時の流れに乗ってしまつては困る。道場を作っても、その運用管理がそれにふさわしいものでなければならぬ。そこでなにと自分が知事をやめた後どうなるか分らない。…そこで誠意と熱意が盛り上がるまで抑えていた。

口、そして昭和十一年十一月に出来上がった。工事は…いわゆるお役所仕事ではなく真心をこめてしようという事になり、勤労奉仕的にやった。学校の先生も生徒も参加した。自発的な結構である。こう考へて誠心から出るように段々や…この道場は安井知事が作ったというよりも「大阪」の者が作ったようにした。

八、千早の城址が狭いものですから…上の段に文館を作り下の段に武館を作り、文武両道を習練する道場であります。文は道を明らかにし、武はその道を実行するという意味からであります。さて建築が出来…その命名を平泉澄博士にお願いして「存道館」と名づけて頂きました。それは明治維新の志士真木和泉守が作られた楠子論

の優秀を推挙、さらに同十五年夏から同館で青年学徒たちの「鍛錬会」を実施しておられる。その「存道館」は、およそ八百字からなり、大楠公が千早城で孤軍奮闘された「純忠至誠の志」を受け継ぐため、ここに安井知事が「士人修練の道場」を建立された意義と目的が明確に示されている。

ちなみに、命名の典故「楠子論」は、幕末に「今楠公」と称された久留米小太宮の桐官真木和泉守(待臣)が文久元年(一八六一)に書かれた遺文で、その末尾に「楠子は親を滅して皇統を継ぎ、以て万世の道を守す。…あ、楠子の忠義、また天壤ともに、窮りなきものか。」とみえる。まさに大楠公は、一族をあげて「皇統」の継続に尽くし「万世の道」を存続せしめられたのである。

大阪の安井府知事と千早存道館

京都産業大学法学部教授 兼日本文化研究所教授・法学博士 所 功

の中に「以て万世の道を守す」とあるのから取つたのであります。

すなわち、当時の大阪府知事は今日と較べものにならぬ強大な権限をもっていたから、「楠公ブーム」に乗る命令ひとつで「楠公道場」を作ったほうが簡単だったであろう。しかし、物事の本質を見極め時代の行末を見抜くことのできる真の行政家だった安井知事は、地元大阪の人々が「すべて楠公精神に徹し」、その建設も運営も自発的自主的にやろうという「誠意と熱意」とが盛り上がるのを待ち、お役所仕事でなく「勤労奉仕」によって「皆が作った」という実感もてるように事業を進められたのである。

しかも、安井知事が偉いのは、この楠公道場を単なる研修施設ではなく、大楠公の精神を学びとる「文武両道を修練する道場」とするために「文館」と「武館」を作り、その命名と指導を平泉澄博士に求められたことである。昭和十一年十一月当時、平泉先生は満四十一歳、東大文学部の国史学科主任教授で、学界・教育界で重きをなした忙を極めておられたが、安井知事の期待に応えて、まずこの道場を「存道館」と名づけると共に「存道館記」を撰文、ついで同館の館長に門弟

この困難な課題にどう対応するか。かねてより大楠公を仰いでいた人々をせめて気候の良い時に千早赤坂村へ赴き、立派な存道館(文館・武館)を自分の目で確かめて頂きたい。また、もし都合がつかば、八月二日(日)の「千早鍛錬会」講演会(講師但野正弘植草短大教授など)か、九月二十八日(日)の「大楠公に学ぶ会」講演会(講師尾形泰治郎藤川神社宮司など)に、御家族や御知友も誘って御参加賜りたい。

(平成十五年五月二十五日 記)

この存道館は、戦後まもなく大阪府立の「千早・山の家」と改められたが、講和独立後の昭和二十九年夏ここで「千早鍛錬会」が再開された。主催は財団法人日本学協会、その代表指導者は平泉澄博士である。先生が同五十九年二月、数え九十歳で長逝されたからには、御息流氏より御命孫隆房氏へと受け継がれ、今夏で再興五十回目の鍛錬会を迎える。ところが、存道館(山の家)の建物は、数年前から大阪府が財政赤字に陥り、公費で維持運営することが難しくなった。そこで、平成十二年から財団法人「千早赤坂史跡保存会」が府より委託を受け管理にあたり、けれども宿泊を伴う研修には使用できないため、鍛錬会の主会場は吉野の一般旅館を借り、途中の半日だけバスで移動して、保存会の協賛により講話をさせて頂くのが精一杯の現況にある。これまで前府会議員Y氏などの御尽力により、何とか府の教育委員会の御理解をえて維持されてきたが、それも今年度限りで終りになる公算が強いという。

功

もちろん、それを放置しておいてよい筈がない。すでに先般来、日本学協会の三輪尚信理事が世話役となつて関係有志に理解と協力を求め、昨秋には保存会との共催により「大楠公に学ぶ会」を存道館で開き、今秋にもその第二回を準備しつつある。もはや府に維持の継続を求めることが不可能ならば、地元の千早赤坂村と楠公史跡保存会を初め大阪府下と全国各地の有志同学が力を合わせながら、存道館の保持と活用を努めるほかないであろう。

この困難な課題にどう対応するか。かねてより大楠公を仰いでいた人々をせめて気候の良い時に千早赤坂村へ赴き、立派な存道館(文館・武館)を自分の目で確かめて頂きたい。また、もし都合がつかば、八月二日(日)の「千早鍛錬会」講演会(講師但野正弘植草短大教授など)か、九月二十八日(日)の「大楠公に学ぶ会」講演会(講師尾形泰治郎藤川神社宮司など)に、御家族や御知友も誘って御参加賜りたい。

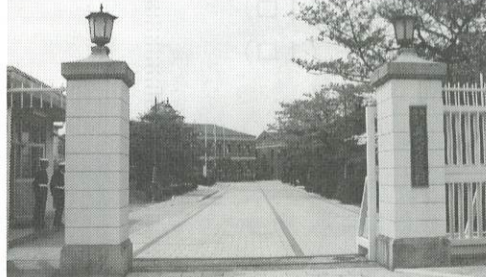
4月17日広島である集まりにも同席するよう主人に言われ、その時東京にいた私は大阪へ帰る予定を変更し、羽田から広島に行きました。当日夜だけの御用でしたから、翌日は朝から1日フリー。(主人は仕事)そのまま私が帰る筈がありません。広島一呉一竹原一三原一福山一新大阪というコースを思いつきました。乗車券を広島一新大阪と買ってあとは途中下車。(特急券は三原一新大阪)

靖国神社に参って何が悪い!

人的な感情を移入せず(苦勞話ではなく)、歴史的事実としてできるだけ正確に、次の世代に伝えて行く責任があると思えます。受け手(若者)の器もあるでしょうけど、若い柔軟な感性に僅かでも響くことがあれば幸い。顕著に響いた事がわからなくても、やり続ける事に意味があると思えます。

IHIのドックの近くには、大和のマストを模った慰霊塔がありました。忘れられたような道路脇の一角でしたが、港やドックを見渡せて、その隣には自衛隊呉総監部があります。総監部は、毎週日曜日に10:00と15:00に一般公開されているそうですが、江田島と違って、内部まで見せてはいただけないとのこと。かわいひ門番さんに教えて貰いました。礼儀正しく、とても気持ちの良い対応でした。まだ20歳くらいと思えるこの青年は、上下関係の厳しい社会で、きちんとした教育を受けている結果がちゃんと現れているのでしよう。軟弱若者を微塵も感じさせない。一人でも、次代の若者が確かに育っているのを見ることが出来て、ホッとしました。北朝鮮のように曲解した洗脳は論外ですが、圧力などに負けず逃げず、地に足をつけた教育をしないと日本も危機がやってくるでしようね。

若くして国の犠牲になった人達を大切に思わずに、利害優先思考はどこかに歪んでくるし、精神的貴族になれないどころか、人としても問われてしまうと思ってしまう。 (三菱地所ホーム株式会社執行役員 関根真應氏夫人、大阪市在住)



海上自衛隊呉総監部正門前

の資料がありましたが、一番に触れたのは第6号潜水艇の佐久間艇長の遺書でした。(小さな黒い手帳で、水に濡れたあとがあります)遺書には鉛筆書きで1ページに3~5行書かれてあって、全文39ページに及んでいます。刻々と苦しくなっていく中で、書かれたものでしょう。これらは私が申しあげるまでもなくご存知のことと思えますけど、当時この遭難事件は新聞各紙が第1報で大きく報じ、艇長の遺書発見の続報で、その感動が国中に伝わったと書いてありました。国内での大きな感動の渦は、やがて全世界に広がり、アメリカ国会議事堂にある陳列ケースの第1には「アメリカ独立宣言」が、第4ケースには佐久間艇長の遺書が原文のままコピーされ、英訳を添えて丁寧に陳列されているそうです。

見ている時も、今思い出しても、喉が塞がりせり上がってくるものがあります。江田島でも感じたことです。特攻隊員にしても(若くして出征した人達も)無念さと、職務(使命)を全うした崇高な精神力と、人としての尊厳を持っていた人達のことを思うと、敬意と感謝と厳粛な気持ちになります。とても真似できず叶いませんが、この人達のお陰で今我々は生きていられるのだとつくづく思います。

靖国神社に参って何が悪い! 戦犯が入っているからと国外からの圧力によって、大臣が参拝をやめるのは情けないことです。多くの犠牲者の上に現在の日本があるのではないかと憤っています。私にできることは、せめて次代の若者である息子に言いつづけるしかありません。また戦争を体験し実感した年配の人達は、個

最初に行った呉の町は私の知識として、戦艦大和の誕生の地、戦時中軍港があった為、空爆を受けて町が壊滅状態になったこと、現在は造船所があること、昔は海軍の今は海上自衛隊の総監部があることくらいです。駅に近づくと、電車の中から巨大なクレーンが見えました。駅の案内所でマップを貰い、町中にでると制服姿の自衛官が歩いています。2年前に訪問見学した江田島と違って、そんなに多くない。まず入船山記念公園に向いました。ここはご存知だと思いますけど、旧海軍呉鎮守府の司令長官官舎の住まいがあった所です。入園料200円払って門を入ると公園内には、長官官舎の他に、東郷平八郎が在任中住んでいた家の離れも移築してあり、火薬庫、旧呉海軍工廠塔時計もありました。長官官舎は、戦後駐留軍の司令長官の住まいとして10年使用され、その後呉市に戻されて国の重要文化財に指定され、一般公開されたものだそうです。木造平屋で和館部と洋館部からなっていますが、今の建築物とは違って、手の込んだ重厚な造りはセンスも良く、さぞやお金がかかっただろう…などと、浅はかな事を考えてしまいました。当時の一般の生活レベルからは想像もできないくらい贅沢で、特権階級は半端じゃなかったことがわかりました。火薬庫や後で建てられた郷土館では、旧海軍関係の資料が展示されています。そこには沢山

関根とも子

明 一喜一憂 暗

八尾市では三宅博氏はベテランであり安心していられたが、堺市では西村真悟衆議院議員の愛弟子・三宅達也・杉本和幸・水の成彰の3氏が当選され「プロジェクト堺」名の新会派を結成された。が市の沢充君は届かなかった。加西市では塚原照一氏が沈没した。結果は8勝4敗といったところであった。ご協力ありがとうございました。

若き同志たちのこれからに期待

あり、具議会の37才の筒井君とのコンビの活躍が期待される。

市議会関係では、大阪市議会に荒木幹男氏が当選、西宮市議会では田中正剛君が若手27才で上位当選、田中君のスローガンは戦後政治の負の部分の精算である。

統一地方選挙で奮戦

選挙とは過酷なものである。同じ様に高邁な政策を掲げながら明暗を分ける。

兵庫県議会では筒井信雄君が上位当選、大阪府議会では岩木均君が2位当選するも、増山君は涙を飲み、八木博氏も次点に泣いた。

西宮市(7-10)		大阪府議会		堺市		八尾市(定数34-42)	
25,845	野口 裕 52公現	9,313	梅本 憲史 無元	9,110	山口 典三 43無現	4,541	大谷 桂右 33無現
19,384	北川 泰壽 33自現	6,547	八木 博 自現	8,183	長谷川 俊英 61無元	4,046	小枝 洋二 62無現
16,413	筒井 信雄 37無新	3,233	竹内 公子 共新	6,248	大毛 十一郎 50民現	3,832	東口 晃治 63無現
13,888	越智 一雄 61民現			5,936	野馬 文盛 54無新	3,684	西川 訓史 44無現
13,714	田中 章雄 66自現			5,635	中村 伸幸 38自現	3,438	村松 広昭 46無現
12,766	掛水 須美枝 57社現			5,626	西村 昭三 58公現	3,411	重松 惠子 48公現
12,270	都築 研二 56共現			5,612	吉川 敏文 44公現	3,405	田中 裕一 30公現
8,841	磯見 恵子 46共現			5,356	芝田 文一 44公新	3,209	林 洋雄 58公現
5,827	吉岡 政和 28無新			5,272	松本 光治 47公現	3,122	岡田 広海 53公現
4,984	辻村 和也 32由新			5,242	吉小西 一美 49公現	3,080	長野 昌海 54公現
	= 確定得票			5,233	辻 藤一 49公現	3,060	阿野 覚 60公現
				5,206	宮本 恵司 56自現	2,999	土井 隆行 51公現
				4,897	西林 克敏 32自現	2,937	角倉 豊 58公現
				4,891	田淵 和夫 46公現	2,858	倉内 博美 64無現
				4,782	池原喜代子 55公現	2,853	吉村 晴之 48無現
				4,780	星原 卓次 47公現	2,853	柏木 順子 59無元
				4,753	増本 陽子 37民新	2,848	藤井 勉 59無元
				4,518	三宅 達也 34由新	2,843	三宅 博 53無現
				4,503	加藤 均 73自現	2,815	小林 貴 64無現
				4,479	中井 国芳 53民現	2,719	杉本 春夫 56共現
				4,414	平田 晶 62無元	2,638	越智 妙子 50共現
				4,357	成小 清司 50公新	2,615	田中 久夫 62無現
				4,315	小郷 一 62民現	2,590	伊藤 久夫 62無現
				4,301	杉本 和幸 56無新	2,573	平田 正史 58自現
				4,253	櫻本 幸子 50公新	2,555	大沢 秀史 57無現
				4,100	芦生 幸一 60共現	2,511	井上 千彦 41無現
				3,982	裏山 正利 48公新	2,466	谷沢 千賀子 54共現
						2,408	藤井 裕之 34無新
						2,358	森井 貴美子 63共現
						2,334	高野 寛治 67無現
						2,273	西野 正雄 74自現
						2,148	内藤 耕一 28共新
						2,060	浜田 澄子 62無新
						2,040	浦 宗二 64自現
						1,975	奥村 信夫 64自現
						1,924	大野 義信 53共現
						1,845	吉川左余子 62共新
						1,746	長谷川悦治 69無新
						705	石川 義一 59無新
						601	柏本 景司 51無新
						591	楠田 充弘 40無新
						210	稲田 剛治 39無新



DNAは健在なり。
誰に教えられる事なく、ヘルメット・フライトジャケットを着けると自然と敬礼している小学校2年生・大野智星君、しかも利腕で(5月17日阪神基地の体験航海・護衛艦あけぼの搭載ヘリの前)。



特攻作戦第一陣に使用された零戦21型機の前で(実物大)。左より濱野・森・高橋会長・津村の各役員

5月18日宝塚聖天社に於いて特攻の第一陣・関海軍大尉とそれに従った予科練10期 of 強兵を始めとして陸海軍戦没者の第26回慰霊祭が盛大に行なわれた。祭主は弊会の神戸道雄相談役である。当日は晴天に恵まれ陸上自衛隊のヘリコプター十数機が慰霊飛行に飛来した。神戸相談役はエンジン以外の外観は全て当時の零戦仕様で川崎重工業に発注し蒼天に鎮座させ、宝塚市を始め地域社会を挙げての「宝塚遺徳顕彰会」を主催されている。

語るに師あり、友ぞある

御入会のお願い

- * 法人会員・年会費 20000円(1口)
- * 維持会員・年会費 10000円(1口)
- * 一般会員・年会費 3000円(1口)

銀行振込みの場合、振込人の住所が判らない為、ご案内等の発送ができません。住所をご連絡くださるようお願い申し上げます。

郵便振替 No.00960-2-137035
加入者名 関西防衛を支える会
三井住友銀行守口支店 普通口座 1261314
口座名 関西防衛を支える会

あの中村大尉(昭和6年5月の中村大尉戦死事件の歌)

一、義勇奉公 四つの文字 胸に刻みて鞭を揚ぐ
丈夫 中村大尉 行途は暗し 興安嶺
二、国家の保護と 國権の維持とは 兵の力なり
尊き使命 負う身には 何の恐るるこぞある
(三・四略)

五、駒の鳴き 鳴る蹄。たてがみに吹く 朝風を
たちまち乱す 銃声は 暴風砲くなき 屯墾軍
六、残虐鬼畜の 振舞いに従容として 死に就ける
英霊滅びず 永久に 護国の神と 仰がれん

交通至便・駅前・一泊五、五〇〇円(税込) 税金込み

ビジネス イン ナンバ

〒556-0011 大阪市浪速区難波中一丁目二
TEL(06)64645177
FAX(06)64645177

ハゲてたまるか!!

月刊「快報」「自然と健康」で特集された夢の育毛剤!!

薄毛・抜毛・白髪・円形脱毛はもちろん 慢性疲労・精力減退・更年期障害にも!!

はっ せい がん
髪精丸α

120粒(1ヶ月分) 13,000円

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-27-12
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

株式会社サンワ運行委託

送迎バス運転代行の安心と信頼の責任集団

代表取締役 **山本 覺**

〒570-0806 大阪府守口市菊水通二丁目十九番一
〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原六丁目

編集後記

*戦後諸悲の根源となった
いる東京裁判史観。この東京裁判は昭和六年の満州事変からの我が国を裁いていく。満州事変がそれ程にひどいものだったのか、我々は満州事変への知識を蓄え、認識を改めなければならぬ。奥村氏に今回の米国の対イラク戦争と較べても、近代史における我が国の立場を確認したい。

*昭和天皇崩御の折、NHKテレビで終始解説を勤めたのが、京都産業大学の所教授である。所さんには、お父上の戦死の場所(ニューギニア)を探し出し、認識を拾ってこれた挿話もある。

千早赤阪の存道館が存亡の淵にあり、編集者も四十年程前に鍛錬会に参加して、所という俊秀が講師助手をして頂いた事を思い出す。

*今回のイラク戦争で、一人の桶氏なく、一人の鳥居強右衛門が無かったのはなげだ。大東亜戦争の神風特攻隊は、これら本邦の歴史の延長線上にある。建武の中興六百七十年を期して振り返る事も大事ではないか。東京裁判史観を打破するために。

(新)